

「従来の健康保険証存続」等訴え

愛知社保協 覚王山日泰寺で宣伝行動(3/21)



3月21日、覚王山日泰寺縁日で署名宣伝行動を14人の参加で行いました。

署名は、「従来の保険証をなくさないで」10、「介護保険制度の改善を」11、「愛知県知事は、国民健康保険への財政支援を」14、「軍事費の拡大でなく、社会保障の充実を」17などの合計52筆を集約しました。他に「保険で良い歯科治療を」にも協力が集まりました。

知らないは大損 知ってトクする!

医療・介護・税金の負担軽減策 2025年度版発行



愛知県社会保障推進協議会(愛知社保協)は、「知ってトクする! 医療・介護・税金の負担軽減策」(略称「知っトクパンフ」)を定期的に発行しています。この度、2025年版を発行しました。

国の悪政にストップ! 地域での医療・福祉・介護の改善を!
増税、保険料アップ、医療費や介護保険の食費・居住費の負担増、年金給付の切り下げ...どこまで庶民いじめが続くのでしょうか。泣き寝入りはゴメンです。みんなの力を合わせて、国の悪政を跳ね返しましょう。

今ある制度は、100%活用を!

負担増の嵐の中でも「負担が軽減される制度」があります。しかし、申請が必要のため知らないが大損です。

このパンフレットは、既存の制度を活用して、少しでも負担を軽減することを目的に発行しています。

このパンフレットには 「障害者控除、寡婦・寡夫控除」「医療費控除」「高齢者の医療費負担の軽減」「高齢者の食事代・居住費の軽減」「介護保険の利用料・食事代の軽減」「障害者認定申請」「福祉給付金支給制度」「生活保護」「国保の保険料(税)減免」「国保一部負担金の減免」など知ってトクする制度を解説しています。

愛知社保協へお申し込みいただく場合、1冊100円及び送料実費負担となります。

→パンフレットと一緒に請求書・振込用紙を同封いたします。

第26回あいち社会保障学校

～大軍拡・大增税、社会保障大破壊 NO! 国民のいのち・暮らしを守ろう～ 100名が学んだ

記念講演 “人の命を守る国づくり” について

講師 石川康宏 神戸女学院大学名誉教授

- 1)兵庫県知事選挙－3つの異例
- 2)総選挙の結果と新しいステージ
- 3)25年度予算案に見る軍拡優先
- 4)日本の平和を切り拓くために
- 5)社会保障に本気で取り組み
- 6)政治の次の局面を切り拓くために

6つのテーマに沿って101のスライドを紹介しながら、熱く語っていただきました。資料と画像を紹介しますので、詳しくはご覧下さい。以下、いくつかスライドを紹介します。

右も左も負けた中で

- ①どのメディアも予想しなかった自公の過半数割れ、両党で**650万減**
- ②維新は不祥事・万博不調で後退、保守・参政の登場、N党の大幅後退、全体で**70万減**
- ③共産・社民も後退、立憲も横ばい、**80万減**
- ④国民・れいわ「手取りを増やす」「消費税をなくす」、SNS・YOUTUBE、**520万増**
- ⑤棄権 **280万増** →戦後3番目に低い投票率

過半数割れ、政治の再編目指す動きも

- 最大の特徴は、**自民・公明の過半数割れ**、第2次安倍政権以降の自民一強時代の終焉、**改憲派は2/3割れ**
- 自民党政治に変わる**新しい政治の中身は不明確**、模索の中、**前に進めたい野党**
- 自民党側からは**野党取り込み**、保守派からの**新しい潮流づくり**などあらゆる巻き返しが
- **若い世代でより大きな変化**、10～30代

比例得票数の増減(前回比)

政党	前回(2021年)	今回	得票数増減
自民	1991万4883	1458万2690	↓ 5332193
立憲	1149万2094	1156万4221	↑ 72106
国民	259万3396	617万2434	↑ 3579059
公明	711万4282	596万4415	↓ 1149867
維新	805万0830	510万5127	↓ 2945703
れいわ	221万5648	380万5060	↑ 1589412
共産	416万6076	336万2966	↓ 803110
保守	なし	114万5622	↑ 1145622
参政	なし	187万0347	↑ 1870347
社民	101万8588	93万4598	↓ 74990
みんな	79万6788	2万3784	↓ 773004

※みんなでつくる党は、21年衆院選はNHK見と比較
<https://mainichi.jp/articles/20241029/k0030m010256000c>

日本より「幸福」な国は50ヶ国

- 幸福度－2012年44位、13年43位、14年なし、15年46位、16年53位、17年51位、18年54位、19年58位、20年62位、21年56位、22年54位、23年47位、**24年51位⇔デンマーク第2位** ※日本の30歳以下は世界73位
- ジェンダーギャップ－2024年第118位⇔デンマーク第15位
- 1人あたり名目GDP－2020年第23位、21年第28位、22年第30位、23年第34位、24年第38位[2000年第2位]⇔デンマーク第10位

軍事費放置で暮らしの改善なし

←この突出ぶり

軍事予算の全体像

↑この急変ぶり
高校授業料、103万円ではまるでカバーできない、本丸は軍事費

大軍拡(らし)マイナス予算

軍事費 9.5%

物価上昇率 2.7%

25年度予算案の主要経費別の前年度比伸び率

2025年度予算案の主要経費別の前年度比伸び率

2025年度予算案の主要経費別の前年度比伸び率

豊かな賃金は経済を発展させる

日本のGDP、人口2/3のドイツに抜かれる

「赤旗」日曜版 24年3月31日付

石川康宏 @wakamono0128 2月4日
賃金を本気で維持したままでの選別3日制への移行は、格差大の産業別労働組合KGMetalが使用する。2024年にはドイツ選別が特等的な部分導入を決め、40社超による半年間の検証が行われた。

そのドイツに日本はGDPで追い越されたんだけど、
賃金で追いついてるよ。

「失われた30年」で日本は...

項目	2013	2023
実質賃金	3.1%増	33.7%増
年平均労働時間	1626時間	1295時間
最低賃金	897～1113円	1966円
所得格差	44.2%	34.0%
ジェンダー格差	125位	6位
食料自給率	38%	86%
再生エネルギー比率	22%	52%

人口 約1億2400万人 約9400万人

要求(願い)にもとづくはたらきかけ

- ①市民の要求にもとづく広範な共闘づくりと政治へのはたらきかけ、SNSでの発信
- 一総選挙で最大の争点となった企業・団体献金の禁止(パーティ券購入を含む)や選択的夫婦別姓の実現、健康保険証の廃止凍結
- 一多くの政党の公約が一致した食料自給率目標の設定、最低賃金1500円実現のための中小企業支援策、国の責任での学校給食無償化など

・90

市民の政治的成熟には「時間と機会」が

- F・エンゲルス「大衆が発展するには時間と機会が必要であり、大衆はその機会を、彼らが独自の運動をもつようになってはじめて、得るのであり…その運動のなかで、彼らは、みずから失敗することによって前進し、損害をこうむって賢くなるのだ」(ゾルゲへの手紙、1886年11月29日)
- 国民・れいわ・斎藤氏等への投票を的確に振り返ることを促進、この流れを大きくしない取り組みが必要(対話・SNSも)

・89

リアルとネットの双方で



- 一部の「得意な人」だけでなく
- ネットでの取り組み・SNSに正面から
- https://www.youtube.com/channel/UCRN0uqsOXTANzCAXS1_nPA

・93

みんなで話し合い、育ちあう会議へ

やってみよう！変わるかも？～新たなチャレンジへ

- 「大人数動員型の運動」→「一人一人の力を引き出す運動」へ
- 「報告中心の会議」から「みんなが話す会議」へ
 - ・どうすればみんなが主体的に参加したくなるのか？
 - ①わかりやすい、質問しやすい雰囲気
 - ・わからないと言えない雰囲気、まちがったこと言うと怒られる雰囲気
 - ②自分が参加している意味を感じる
 - ・特定の人ばかり話す、何も発言しなくても会議は勝手に進んでいく
 - ③参加しやすい環境(×夜間、飲み会セット型→○休日午前、オンライン)
 - ・会議のあとの「飲み会」が当たり前で、「続きは飲み会行って…」
- 「聞いてるだけで疲れるあ」→「自分の意見が反映されて楽しい！」

特別報告 2024年自治体キャラバンまとめの報告

報告者:伊藤 剛 氏 愛知社保協事務局次長/愛知県保険医協会事務局次長

各分野からの報告～

- ① マイナ保険証一本化反対実行委員会 … 濱嶋将周さん
- ② 愛知県への国保署名推進 … 澤田和男 さん
- ③ 知っとくパンフ 2025 年版完成 … 井上望 さん
- ④ 介護改善の課題 … 吉田孫之 さん
- ⑤ 生保裁判最高裁勝利に向けた 3.15 シンポの成功を … 樽松佐一 さん
- ⑥ 保育士配置基準とこども誰でも通園制度から見る
保育分野の課題 … 長谷川容子 さん 名古屋市職労

社保学校の動画を YouTube にアップしました。

<https://youtu.be/9sBnOwb8gMk>

最高裁勝訴に向け「生活保護シンポ」に 100 名参加



3月15日愛知生活保護シンポには全国からのZOOMも含め100名が参加。全国共同代表稲葉剛さんの講演に続き、愛知弁護士・原告による寸劇で厚労省による物価偽装のからくりを暴きました。

いのちのとりで裁判は、貧困とのたたかひの最終防衛ライン「最後の最後まで闘いぬく」決意新たにしました。

2013年の生活保護基準引下げ処分取り消しを求めて、全国29の都道府県で「いのちのとりで裁判」がたたかわれています。各地の裁判は、今年3月末までに40判決(地裁30、高裁10)が出され、原告側が25勝15敗(地裁19勝11敗、高裁6勝4敗)と大きくリードしています。高裁判決でも逆転勝訴が相次いでいます。最高裁・口頭弁論が5月27日に決定、判決も間近となる見通し愛知では原告側が高裁で勝訴し、国側が上告していました。最高裁の口頭弁論がいよいよ5月27日に行われます。最高裁の判決も近々言い渡される見通しとなりました。最高裁勝訴に向けて最高裁勝訴への決起の場として「生活保護シンポ」が3月15日、名古屋市熱田・労働会館で行われました。生活保護基準引下げ反対愛知連絡会の主催です。

愛知県内外の原告、支援者、弁護士らとオンライン含め全国から100人以上の参加がありました。「いのちのとりで裁判は最終防衛ラインを元に戻すたたかひ」について、つくろい東京ファンド代表理事の稲葉剛さんが「広がる貧困の実態と生活保護裁判の意義」と題して講演。「いのちのとりで裁判」は政府が勝手に引き下げた「最終防衛ライン」を元に戻すたたかひだと語り、この裁判が生活保護バッシングで生まれた誤った分断を乗り越える力になると強調されました。



続いて、いのちのとりで裁判全国アクション共同代表の尾藤廣喜弁護士が全国の裁判の現状を紹介し、最高裁に向けた課題をあげました。

- *生活保護の権利性を認め法の定めにも忠実に判断するか、それとも政府の言いなりの判断か—争点はわかりやすく絞られた。
- *「生活保護の充実図れ」を全市民の要求にしよう。
- *地裁、高裁は圧倒的に「今回の引下げは違法」と判断している。
- *高齢加算の枠組みを採用させること。
- *デフレ調整、ゆがみ調整の違法性をさらに訴える
- *原告の生活実態、新しい貧困観をさらに強く訴える、との報告がされました。物価偽装のからくりを暴く寸劇も披露され、全国の支援者からも報告されました。

最後に、愛知の原告から、「物価高で本当に苦しいです、この裁判が私たちの最後の抵抗です。最後の最後までたたかひ抜きます。支援ありがとうございます」と決意表明がされ、勝訴への決意を固めました。

※愛知民医連新聞 2025年4月号より